

# バーチャル体験で学ぶ 認知症の世界

認知症の方が見ている世界は、言葉だけではなかなか想像しにくいものです。

この講座では、VR(バーチャル・リアリティ)ゴーグルを使い、認知症特有の感覚を疑似体験することができます。体験後は、感じたことを他の参加者と共有しながら、接し方や支援のヒントと一緒に考えましょう(\*^-^\*)



**【日時】12月22日(月)10時～12時**

**【講 師】岡山県庁子ども・福祉部 長寿社会課 職員**

**【内容】VR（バーチャルリアリティー）システムを利用し、認知症特有の症状を疑似体験。体験後、参加者同士で話し合うグループワーク**

**【対象】10代～60代までの方**

※めまい、メニエール病等の持病をお持ちの方、

補聴器使用者等聴覚障がいのある方は申込み前にご相談ください※



**【定員】10人程度（先着順）**

**【参加費】無料      【持ち物】筆記用具**

**【申込み】受付中。操南公民館窓口・電話でお申し込みください。**

**【その他】**

- ・12月14日(日)17時時点で申込みが6人以下の場合は中止とします。  
中止の場合は申込をされている方へ公民館から電話連絡します。
- ・**VR体験のみの参加はできません。**
- ・状況により内容の一部変更、中止となる場合があります。
- ・公民館職員、講師が活動の様子を撮影し、広報（公民館だより、SNS等）に活用させていただく場合があります。



 **VR**(Virtual Reality=仮想現実)とは、専用ゴーグルを装着してコンピューター上の3D映像や音の世界に入り込む技術です。たとえば、部屋の中にいながら海の中を泳いだり、宇宙を散歩したり、認知症の方の視界を体験したりと、実際にはそこにいない場所や状況を“その場にいるように”感じられます。

**お申込み  
問い合わせ先** 岡山市立操南公民館  
岡山市中区藤崎201-4  
**☎ (086) 276-7898**  
開館：月～土 9時30分～21時  
日曜は17時まで※水曜・祝日は休館